

# 平成23年度事業報告

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

## 1. 概況

平成23年度は、リーマンショックに続く、ギリシアに端を発した欧州金融不安のため、ヨーロッパをはじめ、ヨーロッパへの輸出減による、中国、インド、ブラジルといった新興国にも影響が及び、全世界ベースで経済活動が減速となりました。

国内では、日本の観測史上最大規模といわれる「東日本大震災」と原発の安全神話を覆す「東京電力福島第一原子力発電所事故」は、リーマンショックからの回復基調にあった日本経済に大きな打撃を与えることとなりました。

さらにはタイ大洪水と自然災害による製造業の停滞、全世界的な不況により行き場を失った投機資金が、円高、資源高を招き、震災後の日本経済復興の行く手を阻んでいるといえます。

このような中、ICT産業では、各自治体・企業の災害時における情報流出からの早期復旧のためのデータのデジタル化やクラウドの利活用、スマートフォンの普及・SNSに代表されるソーシャルビジネスに、新しいビジネスチャンスが開けてきています。

山梨県においては、昨年度「産業振興ビジョン」が策定され、ICT産業は5つの成長分野を支える共通プラットフォームとして、他の産業と連携して新産業・新分野の創出を促進する産業界の基盤的な役割を担う産業として位置づけられました。

こうした経済状況の中、当協会においては、産学官連携事業への積極的な取り組み、他産業との連携を深めるための「ビジネスマッチング事業」の推進、有能な人材確保のための「ICT産業紹介」「企業ガイダンス」の実施、また人材育成では、従来の会員を対象とした教育のみばかりでなく、将来のICT人材確保のため、山梨大学への講師派遣計画（実施は今期）など新しい試みを行いました。

さらに、一般社団法人化に向けた取り組みでは、各関係部署との調整及び、定款の変更等を行い、移行を終了しました。

## 2. 通常総会・理事会

### 【通常総会】

期 日	内 容	会 場
平成23年 6月9日	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成22年度事業報告、収支決算承認について</li><li>・平成23年度事業計画、収支予算承認について</li><li>・一般社団法人への移行、定款の変更、関係手続きの委任承認について</li><li>・役員選任について</li></ul>	ホテル談露館

【理事会】

期 日	内 容	会 場
平成 23 年 4 月 13 日	第 1 回理事会 ・「山梨県安心安全見守りセンター」設立について	(株)YSKe-com
平成 23 年 4 月 21 日	第 2 回理事会 ・一般社団法人への移行手続きについて ・平成 22 年度決算状況（仮）について ・役員改選状況について	ホテル談露館
平成 23 年 5 月 23 日	第 3 回理事会 ・平成 23 年度通常総会開催について ・「山梨県安心安全見守りセンター」設立総会について ・企業ガイダンス開催について	(株)YSKe-com
平成 23 年 7 月 15 日	第 4 回理事会 ・平成 23 年度年間行事について ・神情協との役員交流会について ・「患者情報共有システム」の整備について ・IPA 産学連携による実践的 IT 教育事業について ・一般社団法人への移行手続きについて	アイメッセ山梨
平成 23 年 8 月 1 日	第 5 回理事会 ・ビジネスマッチング事業実施について ・「全国ポータルサイトサミット山梨」への後援依頼 ・スポーツ分野への ICT 利用検討活動状況報告	ホテル談露館
平成 23 年 9 月 15 日	第 6 回理事会 ・安心安全見守りセンター開設について ・IPA 産学連携による実践的 IT 教育事業について ・Android ソフトウェアコンテストについて ・関東地域クラウド推進事業について	ホテル談露館
平成 23 年 12 月 14 日	第 7 回理事会 ・産学連携による人材育成の実施について ・企業ガイダンスの開催について ・海外視察研修の実施について	ホテル談露館
平成 24 年 1 月 23 日	第 8 回理事会 ・山梨大学との講師派遣協定の締結について ・一般社団法人移行申請手続きについて	ベルクラシック甲府
平成 24 年 2 月 22 日	第 9 回理事会 ・一般社団法人移行手続き、登記について ・災害協定締結について	アイメッセ山梨
平成 24 年 3 月 22 日	第 10 回理事会 ・平成 23 年度補正予算について ・役員選考会の設置について ・平成 24 年度事業計画、予算案について ・平成 24 年度年間スケジュールについて	アイメッセ山梨

### 3. 委員会活動

本年度も引き続き、当協会の社会的認知度向上、関係機関・多業種との連携強化を行い協会の基盤充実に努めるとともに、今まで以上に社会的責任を果たすべく、一般社団法人への移行を行いました。

人材育成では、新しいOS（Android, Windows Phone）対応の講習会や、情報処理試験対策講座など会員の技術力向上に努めるとともに、今後 ICT 業界に就職する学生に対して、YSA から講師を派遣し実践的な教育を行うことを決定しました。

#### 1) 総務委員会（委員長：長坂副会長）

##### ①会員の状況（平成 24 年 3 月 31 日現在）

区 分	期初会員数	新規加入数	退会数	期末会員数
正会員	49	2	0	51
賛助会員	7	1	0	8
特別会員	1	0	0	1
合 計	57	3	0	60

##### ②一般社団法人への移行

一般社団法人への移行手続き、定款の変更を行い、平成 24 年 4 月 1 日に一般社団法人への移行を完了しました。

##### ③理事会、定例会、総会の開催

協会の運営のため、10回の理事会、総会の開催、会員への事業経過の報告及び講演会開催のための定例会を開催しました。

##### ④外部団体との交流

県外情報通信関連企業との交流を図るため、「神奈川県情報サービス産業協会」との合同理事会を開催（9月15日）しました。

##### ⑤業界紹介セミナー

山梨大学、山梨学院大学、県立大学、山梨県産業技術短期大学の学生を対象に、魅力ある業界をアピールするとともに、業界への理解を深めるよう努めました。（約 170 名参加）

##### ⑥企業ガイダンス

主に県内大学、専門学校の情報系学科の学生を対象に、企業ガイダンスを2回開催し、新規卒業者の確保に努めました。

- ・第1回 H23. 5. 28 アイメッセ山梨 参加学生 75名 (H24年卒業者対象)
- ・第2回 H24. 2. 28 ベルクラシック甲府 参加学生 64名 (H25年卒業者対象)

## 2) 研修委員会 (委員長: 鈴木理事)

### ①新入社員研修会

H23. 4. 18-19 の2日間、20名が参加し開催しました。

### ②アンドロイド関連事業

#### ・講演会

H23. 4. 22 山梨大学にて、日本 Android の会丸山会長、総務省情報通信政策課谷脇課長、NTT ドコモ山下担当部長を講師に迎え講演会を開催しました。

当日は、約180名が参加しアンドロイドの現状と、将来の発展についての理解を深めました。

#### ・勉強会

5月～6月にかけて5回の勉強会を行い、65名が受講しました。アンドロイドプログラミングの基礎～応用について学び、技術の習得に努めました。

#### ・ソフトウェアコンテスト

ソフトウェアコンテストには19件の応募があり、優秀作品5件を選出し、山梨テクノ ICTメッセの場で、表彰式を行いました。

### ③情報技術者試験対策講座

平成23年度情報技術者試験対策講座受講者数

講座名	受講者数	講座期間	授業回数
基本情報処理技術者試験対策講座	28	6/6-8/11	20
応用情報処理技術者試験対策講座	16	8/7-10/4	16
プロジェクトマネージャー講座	8	11/23-1/7	4

### ④各種セミナー

#### ・IPV6

講演会 (11月17日実施) 研修会 (1月28日、2月4日実施)

#### ・Windows Phone

セミナー (10月28日実施) 開発セミナー (12月3日実施)

### ⑤産学連携委員会 (山梨大学へ講師派遣)

IPAの産学連携「実践的IT教育モデル拡大実証計画事業」の一環として、山梨大学の「ソフトウェア開発実習」に、Y S Aから講師を派遣することになりました。(実施は平成24年度)

### 3) 事業委員会（委員長：清水理事）

#### ①NPO 法人「山梨県安心安全見守りセンター」の立ち上げ

平成 23 年度の、緊急通報システム実証実験の結果を踏まえ、9 月に「山梨県安心安全見守りセンター」の設置支援を行い、具体的な業務を開始しました。

#### ②山梨県との災害協定締結の調整

災害時に、通信関係の資機材を提供する協定について、山梨県との間で締結を行いました。本協定は、平成 24 年 4 月 25 日に、正式に締結されました。

#### ③事業実施コンソーシアム

昨年度に引き続き、「農業部門」「スポーツ部門」の 2 分野で、山梨県、山梨大学、山梨学院大学と連携して事業を進めてきました。

農業部門では、県果樹試験場から「果実の収穫適期の把握と専用カラーチャートの開発」の開発事業を受託し、事業を進めました。

#### ④山梨テクノ ICT メッセ出展

「山梨テクノ ICT メッセ 2011」に協会のブースを設営し、来場者に協会の営業案内・協会活動案内を行い、知名度向上に努めました。

#### ⑤地域医療連携協議会へ外部専門家派遣

峡南地域及び、富士・東部地域の各協議会へ、情報システム専門技術者 2 名をアドバイザーとして派遣し、患者情報共有システムの整備計画へ助言しました。

平成 23 年度収支報告

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

1 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1. 会費収入	5,510,000	5,490,000	-20,000	
(1)会費収入	5,260,000	5,390,000	130,000	
(2)入会金収入	250,000	100,000	-150,000	
2. 事業収入	4,140,000	3,919,980	-220,020	
3. 補助金収入	1,600,000	1,110,000	-490,000	
(1)県補助金	600,000	110,000	-490,000	
(2)JISA 補助金	1,000,000	1,000,000	0	
4. 受託事業収入	11,200,000	10,334,680	-865,320	
5. 雑収入	11,000	407,468	396,468	
6. 負担金収入	0	200,000	200,000	
当期収入合計	22,461,000	21,462,128	-998,872	
前期繰越収支差額	2,226,264	3,513,601	1,287,337	
収入合計	24,687,264	24,975,729	288,465	

## 2 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1. 事業費計	17,232,000	18,006,867	774,867	
謝金	1,360,000	1,540,500	180,500	
旅費	1,435,000	1,833,464	398,464	
会議費	1,452,000	1,143,843	-308,157	
消耗品費	130,000	237,133	107,133	
印刷製本費	530,000	304,118	-225,882	
通信運搬費	100,000	144,922	44,922	
使用料及び賃借料	1,280,000	1,141,185	-138,815	
負担金	350,000	365,400	15,400	
委託費	700,000	1,702,278	1,002,278	
助成金	5,000	0	-5,000	
雑費	140,000	50,600	-89,400	
事業人件費	8,240,000	8,239,360	-640	
福利厚生費	1,250,000	1,299,654	49,654	
備品購入費	230,000	0	-230,000	
支払手数料	30,000	4,410	-25,590	
2. 管理費計	5,915,000	5,853,163	-61,837	
旅費	150,000	189,342	39,342	
会議費	50,000	10,442	-39,558	
管理人件費	2,400,000	2,403,096	3,096	
福利厚生費	320,000	306,269	-13,731	
謝金	100,000	72,500	-27,500	
支払手数料	45,000	47,040	2,040	
消耗品費	100,000	164,826	64,826	
印刷製本費	20,000	0	-20,000	
通信運搬費	400,000	323,311	-76,689	
使用料及び賃借料	300,000	257,600	-42,400	
負担金	300,000	346,100	46,100	
委託費	1,400,000	1,180,000	-220,000	
備品購入費	30,000	0	-30,000	
社会活動費	100,000	320,775	220,775	
雑費	200,000	231,862	31,862	
3. 予備費計	100,000	0	-100,000	
当期支出合計	23,247,000	23,860,030	613,030	
当期収支差額	-786,000	-2,397,902	-1,611,902	
次期繰越収支差額	1,440,264	1,115,699	-324,565	

### 3 正味財産計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金	額
(1)資産増減額		
当期収支差額	-2,397,902	
増減額合計		-2,397,902
当期正味財産増減額		-2,397,902
前期繰越正味財産額		3,513,601
期末正味財産合計額		1,115,699



#### 4 貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
1 資産の部		
(1)流動資産		
普通預金	2,164,695	
未収金	200,210	
流動資産合計		2,364,905
資産合計		2,364,905
2 負債の部		
(2)流動負債		
預り金		79,210
その他		-10,189
未払金		1,180,185
流動負債合計		1,249,206
負債合計		1,249,206
3 正味財産の部		
正味財産		1,115,699
(うち当期減少額)		(2,397,902)
負債及び正味財産合計		2,364,905

5 財産目録

平成24年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
1 資産の部		
(1)流動資産		
普通預金		
山梨中央銀行通帳残高	2,164,695	
未収金	200,210	
流動資産合計		2,364,905
資産合計		2,364,905
2 負債の部		
(2)流動負債		
預り金		
社会保険料		79,210
その他		-10,189
未払金		1,180,185
流動負債合計		1,249,206
負債合計		1,249,206
3 正味財産の部		
正味財産		1,115,699
正味財産合計		1,115,699

## 6 注記

### 計算書類に対する注記

#### 1 重要な会計方針

##### (1) 資金の範囲について

資金の範囲については、現金・預金・未払金・預り金を含めている。

##### 2 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	金 額
普通預金	2,164,695
未収金	200,210
未払金	1,180,185
預り金	79,210
その他	-10,189
合 計	1,115,699
次期繰越収支差額	1,115,699

### 収支差額処分

(金額:円)

区 分	金 額
収入実績額	24,975,729
支出実績額	23,860,030
当年度収支差額	1,115,699

上記当年度収支差額は次年度に繰り越しとする。